

「私のこだわり」第一弾

堺フィルハーモニー交響楽団 ポスター 突然ですが、みなさんはオーケストラの演奏会のポスターにどんなイメージを持っていますか???

結構硬派なイメージを持たれている方も多いの では?

ところが、大阪府堺市を拠点に活動する 「堺フィルハーモニー交響楽団」の演奏会の ポスターはそんなイメージを覆すような デザインが特徴です。

このポスターを手がけるのは、堺フィルハーモニー交響楽団のメンバーでもある松岡裕嗣さん。誰もが注目してしまうユニークさだけでなく、毎回のクオリティの高さにも驚かされますが、何を隠そう、松岡さんの本業はグラッフィックデザイン!随所にそのこだわりが見られます。

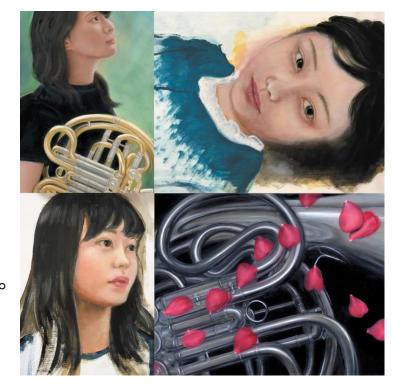
松岡さんにお話を伺いました!



どうしてこのようなポスターを作るようになったのですか

コンサートポスターはよく「第〇〇回演奏会」と書かれていたり、楽団のステージ写真を大きく載せたりしているものが多く、どこのオーケストラも見た目が似たようなものになってしまい、面白味がない…という印象がありました。

松岡さんは本業のグラフィックデザインとは別に、趣味で油彩でよく人物画や楽器を描いており、その資料用に撮った写真をコンサートポスターに転用したのがこのモデル+楽器という特徴的なスタイルの始まりとのことです。





ポスターを作る上でのこだわりは

現在制作中のポスターでは、単に写真の上にタイトルや曲名を載せるのではなく、写真と文字の前後関係を重層的にして平面であるはずの紙面に奥行きを出しています。

一番重要視しているのは「魅力的なモデル」。 人物は松岡さんの知人の一般女性で、楽器は松岡さんの私物か モデル本人の楽器を使用しているとのこと。 そんなこだわりに溢れたポスターですが、今ではポスターを見た初対面の人からも『堺フィルといえばコレだね!』と言われることがあるそうで、松岡さんもそんな時にとても嬉しいと感じるそうです。

松岡さんがオーケストラの中で担当しているのは「ホルン」。

「絵は塗りつぶして描き直しができますが、音楽の演奏は 間違えて出してしまった音はなかったことにできないのが しんどいです(笑)」と語ります。

オーケストラでの演奏活動と、その魅力を広く伝える ポスター制作の両面で、これからのますますの活躍を期待 しています!

